

会 議 録

1 会議名

平成29年度 第2回上越市学校適正配置審議委員会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 学校適正配置に当たっての今後の対応について（非公開）
- (2) 意見交換（非公開）

3 開催日時

平成30年3月27日（火）午後1時30分から

4 開催場所

上越市教育プラザ 研修棟3階 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

議題については、市の機関内部における意思形成過程に係る内容のため非公開としました。

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：大瀧幸治、岡田龍一、折笠正勝、加藤淳一（委員長）、小島定司、
杉本正彦、中戸正子（副委員長）、平野礼、吉田敏子

・事務局：教育委員会 早川教育次長、柳澤教育部長

教育総務課 市川課長、親跡参事、本間副課長、加藤企画係長、柳主事

8 発言の内容

(1) 開会

(本間教育総務課副課長)

ただ今から、平成29年度第2回上越市学校適正配置審議委員会を開会させていただきます。本日は9名の委員から出席いただいております。

上越市学校適正配置審議委員会実施要項第6条第2項の規定により委員の半数以上が出席されているため、会議は成立していることをご報告いたします。

なお、本日の会議につきましては上越市情報公開条例第6条第4号の規定により、市の機関内部における意思形成過程に係る内容のため非公開とさせていただきます。

(2) 挨拶

(本間教育総務課副課長)

はじめに教育次長の早川からご挨拶を申し上げます。

(早川教育次長)

皆さん改めまして、こんにちは。教育次長の早川です。

教育長が所用のため欠席ですが私のほうでご挨拶をさせていただきます。

本当にいい季節になって参りまして、あの大雪はなんだったのだろうかと思う陽気になってきました。年度末の本当にお忙しい中、今日は第2回目の平成29年度上越市学校適正配置審議委員会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

春といえば、まもなく新設となります有田小学校が4月11日に開校します。だいたい五百数十人規模の学校で市内ではかなり大きい規模の学校になります。

かたや旧東頸城の大島区のほうに目をやってみますと、大島中学校が中学校で初めて複式学級が出るという規模の学校になりまして、同じ市内にあっても大きな学校は五百、六百人以上という学校から、小さな学校は三十人、二十人を切ってしまうなど様々です。

ただ、上越市では合併してもう十数年経つわけですが、それぞれの地域、規模の差は関係なく、特色のある教育が行われて参りましたが、ただあまり学校の教員の差が出来てくると子どもにとって必ずしも良い教育環境でないと言われていきます。

その具体的な姿として、例えば教員の定数、学校教育に見合った教員の数ということで例を申し上げますと、従前の大島中学校は3学級があって正規の教員が5人配置です。養護教諭が3学級以上で1人、事務職も4学級以上で1人ということが県の基準になるのですが、大島中学校は教員が7人、内訳は教員5人と養護教諭1人と事務職員1人です。事務職員は4学級以上で配置なのですが、県の配慮で3学級以下にも1人配置されていました。これが2学級になったときには、教員が定数3人で養護教諭も事務職員も配置されないという規模の学校です。

大変厳しい状況の中で、中学校では本来9教科あるわけですから教員が9人揃わないと本来の授業が成り立ちません。教員の数がたった3人という配置になってしまうという実態が小さい学校をこのままにしていけないということにならないということです。

上越としてはやはり一定の教育の質を確保しなければならないし、学校間であまりにも教育環境に差があってははいけません。そして何よりも学校で先ほど申し上げた教員の数などのいろいろな支障が出てくる訳です。そういった諸々の関係を見据えながら今後10年後、20年後と、学校の適正な在り方についてはやはりきっちりとここで教育委員会としての明確な方針を出していく必要があるということで、皆様からの忌憚のないご意

見を聞きながら、今後の学校の配置の在り方について、教育委員会として検討の材料にさせていただきたいと考えております。

限られた時間ではございますが、皆様からたくさんのご意見をいただきながら方向を定めてまいりたいと考えております。どうぞよろしく申し上げます。

(本間教育総務課副課長)

続きまして、加藤委員長からご挨拶をお願いいたします。

(加藤委員長)

こんにちは。大変お忙しいところご参集いただきましてありがとうございます。

事務局は昨日議会が終了したということで、大変ほっとしておられるのではないかと思います。

今、教育界ではいろいろな問題が山積しているようです。一つは教員の勤務時間が長すぎるという問題。月 80 時間の残業もざらで、月 60 時間以上の残業がいっぱいあるという問題を抱えているわけですが、一方で先ほど次長からお話があったとおり、過疎が進んでいたり、学校が複式学級になったり統廃合が課題となっているということもあります。またいじめ問題も深刻さを加えています。そして情報化社会ですから、子どもたちがいろいろと機器をもってあちこち飛び回っていて、親も参っているのではないかと思います。私は老人ですから昔とだいぶ違いますけれども、そういうことを考えますとこれから教育を取り巻く環境は時代とともに変わって、非常に難しくなってくるだろうと考えます。

でも教育委員会の皆様は一生懸命頑張ってくださいるのでありがたいと思っています。

今後ともどうぞよろしく申し上げます。

今日は予定された議題について審議させていただきますが、どうぞよろしく申し上げます。

(3) 議事

非公開

(4) その他

(加藤企画係長)

次回の当委員会の開催につきましては、本日いただいたご意見や今後の検討課題について精査しまして、来年度になりましたら内容を整理して開催いたします。開催時期は未定ですので、開催時期が決まりましたら改めてご連絡いたします。

なお、当委員会につきましては、皆様の任期はあと 1 年ございますので、また来年度も

引き続きよろしく願いいたします。

(5) 閉会

(本間教育総務課副課長)

以上をもちまして本日の委員会を終了させていただきます。大変ありがとうございました。

9 問合せ先

教育委員会教育総務課企画係 TEL : 0 2 5 - 5 2 6 - 5 1 1 1 (内線 1 0 3 0)

E-mail : kyouikusoumu@city.joetsu.lg.jp